

令和3年度 六大学との連携事業一覧（事業区分別）

本表の並び順について

「事業区分」 ①講座 ②イベント ③企業等連携 ④委員 ⑤会議 ⑥調査研究等 の順

「事業区分」の中には、「大学」順、「主な対象者」順

なお、「大学」、「主な対象者」は下記の順で記載

「大学」（足立区での開設順） 放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」（年齢を基準に区分） 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など

※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
1	講座	東京未来大学	高校生	指導者養成講座 「アートボランティア講座」	こども心理学部こども心理学科	高橋文子准教授	子どもたちにアート活動の機会を提供し、その活動を通して関わりを深め、自己表現を促すことのできる指導者を養成する講座。年2回、1回3日制で実施。	対面	①6/23、7/10、 ②10/14、 10/28、11/14	29
2	講座	東京未来大学	大学生	生涯学習センター主催講座	モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科	森下一成教員	学生によるまちづくり活動のコーディネート。	対面	通年	25
3	講座	東京未来大学	全区民	東京未来大学・生涯学習センター共催公開講座① 「コロナに負けない心の健康講座」	こども心理学部	須田誠教授	区内大学との連携をさらに深め、より発展的な事業づくりにつなげていくことを目的とするともに、東京未来大学の持つ専門性を活かした講座を区民の皆さまに広く提供し、暮らしや仕事に活かす。	対面	12/7	6
4	講座	帝京科学大学	大学生	認知症高齢者支援事業	医療科学部医療福祉学科	格崎京子教授	医療福祉学科1年生の授業の枠内で、「認知症になっても住み続けられるまち足立」を目指し、認知症講座を2日制で実施。 【座学】認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座 【実演】認知症高齢者声かけ訓練	対面	10/5、10/19	91
5	講座	帝京科学大学	大学生	介護実習（地域実習）	医療科学部医療福祉学科	格崎京子教授 松永美輝恵助教	令和2年度、新型コロナウイルス感染症流行のため、介護実習で、「多職種協働によるチームアプローチ」、「保健・福祉・医療の連携」について理解を深めることが出来なかったため、代替実習として、模擬カンファレンスの動画を撮影。今年度はその動画を視聴した学生と対面で認知症に関わる地域支援推進員、疾患医療センター職員が学生と意見交換会を実施。終始、学生が会場案内、進行、締めの挨拶までを行い連携について理解を深めた。	対面	2/22	11
6	講座	帝京科学大学	大学生	学芸員実習	生命環境学部アニマルサイエンス学科、自然環境学科、生命科学科	学長沖永莊八教授	博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験を実施。	オンライン	8/23～8/28	36
7	講座	帝京科学大学	大学生	帝京科学大学自然環境学科実習	自然環境学科	森長真一准教授	荒川下流域ならではの環境の特性を知り、身近な自然を理解することに繋げることを目的とし、帝京科学大学自然環境学科にて行われる環境野外実習。	対面	6/26	64
8	講座	帝京科学大学	全区民	あだちの大学リレイベント企画 「介護予防の現場で使える！身体的フレイル対策」	医療科学部東京理学療法学科	潮見泰蔵教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。 前半はフレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、などの言葉の意味やそれぞれの関係性など、イラストやグラフを使って説明。 後半では、正しい筋力トレーニング方法について、潮見先生が動画を使って解説。	オンライン	12/18	51
9	講座	帝京科学大学	全区民	職員育成研修 「乳幼児の人権」（WEB研修、オンデマンド研修）	教育人間科学部幼児保育学科	林友子教授	日常の保育で子どものかかわり方を振り返りながら、事例を通して子どもの人権尊重について学ぶ。 当初は、会場にて対面で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、WEB研修に変更となった。オンデマンド研修では、受講対象者の範囲を拡大するとともに、WEB研修受講の環境が整わない施設が受講できるよう、YouTubeでのオンデマンド研修を実施。 当研修の講師を探していたところ、元当区職員であり、現在「乳幼児の人権」をテーマに教鞭を執られている林教授に講師を依頼したのがきっかけ。	オンライン	9/3、11/29～ 12/17	266
10	講座	東京電機大学	小中学生	あだちの大学リレイベント企画 「見たい！知りた！半導体！解きあかせ！！電気のヒミツ」	工学部電子システム工学科	篠田宏之教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。 事前に参加者に送った実験キットを使い、ムギ球とLEDの点灯実験をしながら、半導体のしくみを学ぶ講座。	オンライン	10/2	172
11	講座	東京電機大学	小中学生	足立区委託事業 「科学・ものづくり体験教室」	工学部自然科学系応用化学科/先端機械工学科/システムデザイン工学部デザイン工学科	井上竜ノ介助手 長澤光晴教授/ 小林宏史准教授 佐藤真一講師 田中里美講師 保倉明子教授/ 伊藤俊介教授	ものづくり体験を通して科学的な思考力を身につけ、学ぶ意欲を育む機会。 「紫キャベツで試験紙を作り、水溶液の反応を調べる実験」「カメラの原理となるもの（カメラオブスキュラ）を作り、光の特性を調べる実験」「ペーパークラフトを作って学ぶ建築学」「ペットボトルの船を作り、入浴剤と水との化学反応を調べる実験」の4講座のうち1講座を受講。 当年度は新型コロナウイルス感染症の影響により非対面形式（作成キットを各家庭に送付し、動画を配信）で実施。 対象は小学5年生、チラシを小学校経由で対象全児童に配付、申込は個人単位。	オンライン	8/2～8/3、9/3～ 9/12	300
12	講座	文教大学	小中学生	あだちの大学リレイベント企画 「いろんな文化シッティング！世界のとまごちつくるココ」	国際学部国際理解学科	孫美幸准教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。 外国人や外国にルーツを持つ方の文化や生活を、多文化背景を持つ学生たちと一緒に学ぶ講座。	オンライン	2/19	72
13	講座	文教大学	高校生	生涯学習センター主催講座 「多文化共生社会の未来は？」	国際学部国際理解学科	孫美幸准教授	大学の持つ専門性を活かした講座。2つの高校で実施（高徳女子高校、都立湖江高校）。	オンライン	11/24、12/15	440
14	講座	文教大学	大学生	キャリア教育的な指導方略について	経営学部	新井立夫教授	「キャリア教育的な指導方略」と題した講座（足立区生涯学習センターとのリレー講座の企画）。教育指導課長がパネリストとして参加。	オンライン	8/7	29
15	講座	文教大学	大学生	アクティブスクールマネジメント	経営学部	新井立夫教授	キャリア教育的視点による「学びの変化に対応する高校・大学・企業の人材教育の在り方」と題した講座。教育指導課、学務課学校給食係、おいし給食担当がパネリストとして参加。	オンライン	7/17、10/30	89
16	講座	文教大学	大学生	地域計画特論	国際学部	海津ゆりえ教授	まちづくりに関する行政課題についての講義、ディスカッション。	対面	10/18	4
17	講座	文教大学	大学生	地域調査演習	国際学部国際理解学科	山田修嗣教授	行政職員とのインタビューを通して、地域課題等を考える。	－	6/22	4
18	講座	文教大学	大学生	あだワンへの応募	国際学部国際理解学科	本浜秀彦教授	動画作成を通して、足立区を知るきっかけとする。	－	11/4	8
19	講座	文教大学	大学生	あだち学	国際学部	海津ゆりえ教授	毛長川流域のフィールドワーク。花畑地域の歴史的考察に伴う講話、花畑地域の方と交流。	－	5/20	9
20	講座	文教大学	大学生	観光政策論	国際学部国際観光学科	清水麻帆准教授	北千住でのフィールドワークを行い、観光政策などを通じた地域活性化を学ぶ授業。職員による講和を実施。	対面	6/29	10
21	講座	文教大学	大学生	公共経営実地演習	経営学部	新井立夫教授	行政課題の解決提案について、グループディスカッション、担当課への質疑・相談、プレゼンテーションを行う授業。区長、担当課職員による講和を実施。	オンライン、対面	通年	15
22	講座	文教大学	大学生	地域プロジェクト演習	国際学部	海津ゆりえ教授	地域作りに関するお題に対し、課題解決の提案をまとめる演習。	対面	9/16、1/13	21
23	講座	文教大学	大学生	空き家利活用	国際学部国際観光学科	清水麻帆准教授	地域資源などの活用を通じた地域活性化について学ぶ授業。	－	5/14	28
24	講座	文教大学	大学生	文化を基盤とした地域創生	国際学部国際観光学科	清水麻帆准教授	足立区の地域経済の課題とその方策について学ぶゼミ。	－	5/7	28
25	講座	文教大学	大学生	国際学入門	国際学部	海津ゆりえ教授	国際学部1年生全員が受ける、国際学に関する基礎授業。区の国際事情に関する取り組みについての講話を行う。	オンライン	5/28	293
26	講座	文教大学	大学生	サービス・ラーニング(特殊講義)	国際学部国際理解学科	林薫教授	大学生が地域のNPO等が実施する活動に参加し、コミュニティをベースとした実際の課題への対処、自らできることを活動を通して学ぶ（8回の講義と45時間の実習）。	対面	通年	10

No	事業 区分	大学	主な 対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加 者数
27	講座	文教大学	全区民	文教大学リレー講座 「コロナパンデミック後の 世界を考える国際学の視点 から」	国際学部国際 理解学科、地 域連携セン ター	奥田孝晴教授	【開催経緯】文教大学東京あだちキャンパス新設記念事業として、文教大学 地域連携センター、足立区生涯学習センターとの連携してリレー講座を企 画。その最終回として開催。 【内容】コロナによって世界はどう変化するのか、コロナ後の世界はどうなる のか、国際学の視点からこれまでを疫病の歴史を紐解きながら考え学ぶ。	オンライン	1/22	14
28	講座	文教大学	全区民	文教大学リレー講座 「新型コロナウイルスがも たらした国際観光の変容」	国際学部教授	小島克巳教授	目的：文教大学東京あだちキャンパス新設を記念して、区内学習センターで 文教大学教員を講師として招き、テーマごとに講座を開催する。新たな大学 の学びを学習センターから区民に届ける。 内容：インバウンドに大きく依存してきたわが国の観光産業は、新型コロナ の流行により大きな打撃を受けている。インバウンド需要の回復が当面見込 めない中で、観光産業はどのように対応していけばよいか。また、アフター コロナ時代に向けて、私たちの旅の目的や形態はどのように変化していくの か。このような視点から、新型コロナウイルスがもたらした国際観光の変容 について学ぶ。	オンライン	11/6	25
29	講座	文教大学	全区民	文教大学リレー講座 「経営学入門 事業の3次 元定義からみた企業経営」	経営学部	石塚浩教授	生涯学習センター「文教大学東京あだちキャンパス新設記念事業リレー講座」2回目。 事業の三次元定義の特組みを使い、企業経営について事例を紹介しながら大 学の高度な学習機会を地域に広げることが目的とする。	オンライン	9/25	25
30	講座	文教大学	全区民	生涯学習センター・地域学 習センター連携講座 「基調講演：キャリア教育 の視点での主体的・対話 的で深い学びと探究」 「討論会：授業における主 体的・対話的で深い学び」 と「探究時間」によるキャ リア教育的な指導方略	経営学部	新井立夫教授	大学の持つ専門性を活かした講座。	オンライン	8/7	29
31	講座	文教大学	全区民	文教大学リレー講座 「決算書の見方・読み方入 門」	経営学部	志村正教授	文教大学のあだちキャンパス新設記念事業として、地域学習センター6館で リレー講座を行う生涯学習センターとの共催事業。鹿浜地域学習センターで は、決算書の見方・読み方の入門を開催。お金について理解を深め、ビジネ スだけでなく家計でも役立つ知識を学ぶ。	オンライン	10/2	31
32	講座	文教大学	全区民	文教大学リレー講座 「エコツーリズムのススメ 〜地域の宝がつかなく未来」	国際学部	海津ゆりえ教授	地域の宝を掘り起こすための視点と手法について、持続可能な観光の代名 詞、エコツーリズムから見てくる「あだち」の魅力と可能性を他地域の事例 も交えながら考える。	オンライン	11/20	34
33	講座	文教大学	－	スクールソーシャルワー カー研修	人間科学部人 間科学科	宮地さつき講師	不適切な養育環境の家庭への支援によるスクールソーシャルワーカーの資質 向上。	オンライン	10/25	12
34	イベント	放送大学	全区民	学びピアの縁側、出展	－	－	生涯学習総合施設「学びピア21」の各施設が集まり、体験型プログラムを 実施することで、新規利用者の獲得やリピーターの増加、各施設利用者へ横 断的な利用を促すことを目的としたイベント「学びピアの縁側」において、 放送大学より3サークルが参加。 毎月開催のイベントに可能な限り出展。	対面	毎月1回	355
35	イベント	東京藝術大学	小中学生	Music Brige プロジェクト	国際芸術創造 研究科	大島路子特任講師 児玉真特任准教	チャレンジ学級、あすテップの児童生徒を対象に、音楽に触れる体験を提供 する。足立区生涯振興公社の仲介により若手音楽家の育成を目的とした同プ ロジェクトの活動拠点創造と不登校児童生徒への体験機会の提供の目的が合 致したことから開催。	対面	2/22、2/28	32
36	イベント	東京藝術大学	小中学生	足立区における多層的な文化 芸術環境に関する調査研究 委託事業 「音楽教育支援事業」	音楽学部	佐野靖教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立 区の個性創造を図るとともに、多層的な文化芸術環境の創造に関する調査研究 を実施し、今後の区内文化芸術振興に資することを目的とする。 具体的には、大学院生や藝大出身の若手演奏家が区内小・中学校及びこども 館を訪問し、音楽鑑賞会(金管アンサンブル等)、音楽科授業等補助(歌唱・ 合唱等)、部活動の基礎指導(金管バンド・吹奏楽)、小学校教員研修会を 実施。 当年度は上記と並行して、各校の希望コンテンツについてアンケートを取り 、動画を作成しDVDに収録後、配布。対面・非対面両形式で実施。	オンライン、 対面	通年	17,791
37	イベント	東京藝術大学	全区民	アートアクセスあだち 音ま ち千住の縁 「Memorial Rebirth 千住」	音楽学部音楽 環境創造科、 大学院国際芸 術創造研究科	熊倉純子教授	無数のシャボン玉で見慣れた景色を愛容させ、新たな記憶を生む、現代美術 家・大巻伸嗣によるアートパフォーマンス作品を軸に、地域住民との協働で 展開するプログラム。 これまで実施したワークショップ参加者やプロジェクトメンバーらとともに 、コロナ禍でもシャボン玉の景色を届け、新たな記憶を生むこと、新たな 仲間をつくることを狙いとし、シャボン玉マシンを個人宅等に出張させる 「メモリバのホームステイ」を中心に展開。	対面	6/20、9/19、 9/20、10/3、 10/11、10/16、 10/24、11/7、 12/25	684
38	イベント	東京藝術大学	全区民	アートアクセスあだち 音ま ち千住の縁 「千住じゃれ音楽祭」	音楽学部音楽 環境創造科、 大学院国際芸 術創造研究科	熊倉純子教授	作曲家の野村誠と公募で集まった市民による音楽団体「じゃれ音楽研究 会」が、多様な人々と共創を通じて、じゃれと音楽が結びついた「じゃ れ音楽」を深めていくプロジェクト。 オンラインでタイ・インドネシア・マレーシアをはじめとした海外とつなが り、音楽作品を制作し、その集大成として「アジアじゃれ音楽祭」 を開催。	オンライン	9/12、1/22、 1/23	1,111
39	イベント	東京藝術大学	全区民	アートアクセスあだち 音ま ち千住の縁 「千住・人情芸術祭」	音楽学部音楽 環境創造科、 大学院国際芸 術創造研究科	熊倉純子教授	これまで多数の実践を通して地域と育んできた「縁」を活かした、まちなか 回遊型アートプログラム。地域の人と場所との関係性に着目した、新たな 「縁」を結ぶことを目指す。 令和3年度は、公募で集まったパフォーマー達が同時多発的に歌や踊りなど のパフォーマンスを繰り広げる「1 DAYパフォーマンス表現街」をはじめ、 アサダワタル「声の質問」、友政麻理子「恋映画館、カーテンの夢」を 実施。	対面	5/15、5/17、 8/28～9/21、 9/26、10/1、 10/2、10/16、 10/17、10/23、 10/24、10/30、 10/31	1,234
40	イベント	東京藝術大学	全区民	アートアクセスあだち 音ま ち千住の縁 「イミグレーション・ ミュージアム・東京」	音楽学部音楽 環境創造科、 大学院国際芸 術創造研究科	熊倉純子教授	現代アートの手法を用いて、地域に暮らす外国人との交流を通して多文化社 会を紐解く岩井成昭(秋田公立英明大学教授、東京藝術大学非常勤講師)の プロジェクト。 これまでの活動の集大成として、多国籍美術展「わたしたちはみえてい る-日本に暮らす海外ルーツのひとびと-」を開催。ゲストアーティストによる作 品展、外国にルーツを持つ人びとによる公募展、市民団体等の活動展示を 行った。令和3年度は新たな試みとして、区内小学校4校を対象にしたエ デュケーション・プログラム(アウトリーワークショップ、多国籍美術展 での鑑賞ツアー)を展開。	対面	11/18、11/22、 12/7、12/10、 12/11～12/26	2,298
41	イベント	東京藝術大学	全区民	アートアクセスあだち 音ま ち千住の縁 文化サロン「仲町の家」拠 点形成事業	音楽学部音楽 環境創造科、 大学院国際芸 術創造研究科	熊倉純子教授	江戸時代に建てられた旧家の日本家屋を、アートの拠点・文化交流施設とし て管理運営している文化サロン。 若手アーティストを招聘し、制作・発表の場を提供し、アーティストと地域 との交流を生み出す企画を実施。	対面	4/3～3/28までの 土・日・月・祝 日(159日開催)	4,851
42	イベント	東京藝術大学	全区民	藝大生が奏でる秋のワゴン コンサート	音楽学部	－	地域住民に区内大学の活動を知ってもらうとともに芸術に親しむ機会を提供 するため、藝大生2名によるピアノコンサートを開催。	対面	10/17	33
43	イベント	東京藝術大学	全区民	足立区における多層的な文化 芸術環境に関する調査研究 委託事業 「芸術によるまちづくり事 業」	音楽学部音楽 環境創造科	田村文生准教授	コンサートや動画配信を通して、区民の文化芸術への関心を高め、文化芸術 を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、区内文化芸 術振興に資することを目的とする。 コンサートと動画配信(R2年度から)を年4～5回で実施。	オンライン、 対面	7/2、8/15、 9/29、10/17、 11/3	14,409

No	事業 区分	大学	主な 対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加 者数
44	イベント	東京藝術大学	-	足立区における多層的 文化芸術環境に関する調査研究 委託事業 「福祉と子育て支援事業」	音楽部	畑瞬一郎教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的的文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施し、今後の区内文化芸術振興に資することを目的とする。 保育者を対象に音楽を通して乳幼児と関わる意義とその方法の理解を深め、保育実践につながる具体的な音楽活動（おとあそび研修）。 音楽療法のノウハウとスキルを区内保育施設の音楽活動に活用するための出張型園内コンサート。 「おとあそびのノウハウで子どもとのかかわるヒントとコツ」をテーマに保育者向けワークショップ。 障がいのある子どもとその家族を対象としたコンサート。	対面	①5/25、6/24、7/9、10/7、11/8、11/25、12/16 2/8～2/18（オンライン） ②11/19、12/7 ③2/27（オンライン） ④12/17～1/31（オンライン）	169
45	イベント	東京未来大学	全区民	くらしフェスタ	こども心理学部	木内菜保子准教授、 小林久美教授、鈴木哲也准教授、高橋文子教授	消費生活に関する知識を啓発するイベント。未就学児、小学生またはその保護者に向けた啓発をターゲットとしており、そのためのワークショップを大学側と協議する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により、高橋文子教授（主に人を配置しない展示会）が決定したため、打合せ等も行われなかった。	対面	10/20 ～ 10/26	60
46	イベント	帝京科学大学	幼児	足立区委託事業 「non face to face type のびのびプレイデイ」	教育人間科学部 幼児保育学科	飯泉祐美子教授	2歳児以上の未就学児を対象とした遊び体験事業。申し込んだ家庭へ幼児保育学科の1年生が企画・準備した「2・3歳児向け」「4・5歳児向け」の親子で遊べる動画（親子でうごいて遊ぶ・おはなしを見る、聞く・親子でつくって遊ぶ）28本を配信。保護者向けとして、育児や遊びの意義、家庭でできる遊びについての解説を動画内で配信。	オンライン	12/22～1/17	482
47	イベント	帝京科学大学	小中学生	足立区委託事業 「Zoomで体験！一日大学生」	総合教育センター/自然環境学科/東京柔道整復学科/医療福祉学科	松本ディオコけんじ講師/橋本慎治教授/小黒正幸助教/浅沼太郎講師	大学キャンパスでの授業や大学生活を体験することで、学問の面白さに気付く機会を提供するとともに、将来の進路を考えるキャリア教育に資することを狙いとする。 当年度は以下の5企画をZoom配信で実施。 未来を予測！？数理モデルを体験！ 地球温暖化が進むと食はどうなる！？ 総理の科学～足首の捻挫を科学する～ ソーシャルワーカーって何だろう？ 大学生がキャンパスライフを紹介！ 対象は全中学生、チラシを中学校経由で全生徒に配付、申込は個人単位。	オンライン	1/8	34
48	イベント	帝京科学大学	小中学生	足立区委託事業 「Zoomで夢の体験教室」	教育人間科学部 学校教育学科	平田敦義准教授 石橋裕子教授 米田巖根講師 安藤生大教授 高田由基助教 橋剛夫教授 持田尚准教授 岩沼聡一朗講師 松井高光助教 長見真教授 馬場千秋教授 金田祐講師 橋本丘雪教授 吉村日出東教授 神谷純子准教授 鈴木貴史准教授 永沼充教授 小池守教授 倉山智春准教授 大日向浩教授 櫻井丈講師 塚占真翔特任助教	大学キャンパスでの授業体験や大学生との交流を通じて、学習する面白さや大学に対する興味関心を深め、将来の進路を考えるキャリア教育に資することを目的とする。 当年度の内容は科学、英語、スポーツ、雑学をテーマにして5日間に分けてZoomで配信。対象は小学4～6年生、チラシを小学校経由で対象全児童に配付、申込は個人単位。	オンライン	12/18、1/22、2/5、2/12、2/19	117
49	イベント	帝京科学大学	小中学生	足立区委託事業 「ICTを活用した教材開発・実践事業（ふれあい動物教室・自然体験教室）」	教育人間科学部 こども学科	花岡誠教授 大学生	さまざまな動物とのふれあいや観察を通じて、いのちの大切さを体験的に学ぶ「ふれあい動物教室」を動画にして配信。 小学校1・2年生対象、小学校単位で実施。 山梨県上野原市で行う季節の植物や動物とのふれあい「大学遠足」をZoomで各教室とつなげて実施。小学4年生対象、小学校単位で実施。	オンライン	11/18、11/30、12/3、12/8、12/10、12/14、12/15、1/14	880
50	イベント	帝京科学大学	大学生	清掃美化活動実施団体への登録及び清掃活動の実施	-	-	大学として団体登録。月1回以上、定期的に清掃活動を実施する団体に対し、年1回、区が3,300円以内の清掃物品を進呈、及びホームページ等で活動紹介を行う。	対面	毎週月曜日	188
51	イベント	帝京科学大学	高齢者	孤立ゼロプロジェクト推進事業	医療科学部 医療福祉学科	楠永敏恵准教授 山田健司教授 吉賀成子准教授	医療福祉学科では、平成28年度から授業の一環として、学生による地域活動「千住便利隊」を行っている。 キャンパス周辺地域の高齢者宅を訪問し、掃除、買い物の手伝い、話し相手など高齢者の見守り活動に取り組んでいる。 帝京科学大学は、絆のあんしん協力機関に登録している。	対面	11月	32
52	イベント	帝京科学大学	全区民	オランダ連携事業 「GAME CHANGERプロジェクト～バラスポーツで社会を変える～」	医療科学部 東京理療療法学科	潮見泰蔵教授	2017年10月から共生社会の先進国であるオランダとの連携事業を展開。花畑地域の小・中学校、特別支援学校とオランダのパラスリートの交流事業や地域スポーツではオランダの障がい者スポーツ普及の仕組みを学び、2020年9月に障がい者の運動・スポーツ相談窓口「あだちスポーツコンシェルジュ」を開始した。また、この事業が縁となり、2020年11月に総合スポーツセンター内に「スペシャルクライフコート」を設置。障がいの有無に関わらず誰もが運動・スポーツを楽しめる共生社会の実現に向けた取り組みをスタート。 この取り組みを広く区民に周知するため、これまで連携事業に携わったステークホルダーのインタビューを軸としたオランダ連携動画（第7弾）を作成。2019年11月に帝京科学大学理療療法学科の学生を対象としたオランダアスリート講演会にご協力いただいた潮見教授にご出演いただいた。 オランダ連携動画（第7弾）は2022年1月29日～2月6日JCOMチャンネル足立で放映したほか、動画d eあだちに公開。	対面	11/16	1,058
53	イベント	帝京科学大学	全区民	避難所運営訓練（本館）	-	-	帝京科学大学（本館）を避難所とする町会・自治会との訓練を実施。	対面	11/20	42
54	イベント	文教大学	小中学生	「Zoomで0からENGLISH」	国際学部 国際理解学科	塩沢泰子教授	英語を身近に感じられるレクリエーション（ジェスチャーゲームや絵本の読み聞かせなど）を午前の部・午後の部の2部制にしてZoom配信で実施。	オンライン	2/13	38
55	イベント	文教大学	小中学生	ふんこ食堂	国際学部 国際理解学科	林薫教授	学生主催の子ども食堂の実施。	対面	12/12、3/13	70
56	イベント	文教大学	大学生	WEB学内合同業界セミナー	-	-	就職活動に向けた足立区及び企業の説明会。	オンライン	12/22	27
57	イベント	文教大学	大学生	学内合同業界研究セミナー	-	-	インターンシップに向けた受け入れ足立区及び企業による業務説明。	オンライン	6/5	54
58	イベント	文教大学	全区民	出張展示 「絵本で世界を旅しよう フィンランド」	大学事務局 芸術情報図書館課	-	【内容】文教大学東京あだち図書館の特集コーナーにて、共同展示を行った。花畑図書館で開催している「世界を旅するおはなし会」のフィンランドの回で取り上げた資料や、フィンランド出身の作家が書いたクリスマス絵本など双方の図書館資料を展示。 【目的】資料展示などを通して双方の図書館の認知と利用促進を図る。 【開始した経緯】花畑図書館では読書推進事業の一つとして展示本の出張を検討していたところ、文教大学のご協力により特集展示が実現。	対面	11/22 ～12/25	51
59	イベント	帝京科学大学、 東京未来大学、 文教大学	小中学生	小学校自然教室事業（日光・鋸南）	-	-	小学校5年生の鋸南自然教室、6年生の日光自然教室に随行し、教員の補助をする指導補助員・養護指導員として大学生が参加。	対面	10月～12月	66
60	イベント	帝京科学大学、 東京未来大学、 文教大学	大学生	春のごみゼロ地域清掃活動	-	-	区の「春のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力依頼済み。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	5/24、6/18、6/21	33

No	事業 区分	大学	主な 対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加 者数
61	イベント	帝京科学大学、 東京未来大学、 東京電機大学、 文教大学	大学生	秋のごみゼロ地域清掃活動	—	—	区の「秋のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力依頼予定。指定期間中に、 大学周辺の清掃活動を実施。	対面	10/18、10/23、 11/17、11/25、 11/29	44
62	イベント	六大学	大学生	夏期アルバイト募集	—	—	学童保育室・児童館業務補助。	対面	小学校夏休み期 間	3
63	企業等連携	東京電機大学	全区民	産学連携技術促進事業技術 勉強会 「ロボットと情報通信ネッ トワーク」	工学部情報通 信工学科	鈴木剛教授	ロボットと情報通信ネットワークの関係について概観し、情報通信ネッ トワークの基礎事項について学ぶ勉強会。 ロボットと情報通信ネットワークに係わる様々な研究事例を紹介し、課題や 展望を学ぶ勉強会。	オンライン	6/17、6/24	29
64	企業等連携	東京電機大学	全区民	産学連携技術促進事業産学 公金交流会	—	—	「SDGs 社会を生きる ～環境とエネルギー（脱炭素）～」 東京電機大学教員や企業による省エネなど環境に配慮した製品や技術の研究に 関する講演、製品の展示を行う交流会。 主催：東京電機大学・足立成和信用金庫・足立区	オンライン	9/22	30
65	企業等連携	東京電機大学	全区民	産学連携技術促進事業技術 勉強会 「中小企業も活用できる IoT・AI」	工学研究科	森和男教授	デジタル化の要となるIoTやAI導入の必要性や効果について学ぶ勉強会。 IoTやAIの導入に向けて具体的に取り組むべきかを学ぶ勉強会。	対面	11/4、11/19	36
66	企業等連携	東京電機大学	全区民	産学連携技術促進事業 技術相談事業	産官学交流セ ンター	—	区内事業者からの技術相談受付、区内企業訪問、産学連携マッチング等を行 う。	対面	随時	63
67	企業等連携	東京未来大学、 文教大学	大学生	大学生地域活動プラット フォーム	—	—	区内企業の若手経営者と学生のオンライン交流会及び区内企業へのインタ ビュー。区内企業との商品開発。	オンライン、 対面	7/1～8/6、 11/29～1/26	329
68	委員	放送大学	—	コールセンター事業	教養学部情報 コース	中谷多哉子教授 松垣博章教授	足立区統合電話センター運営評価委員会における助言者。	オンライン	2/3	10
69	委員	放送大学	—	生涯学習関連施設指定管理 者評価委員	—	岩永雅也学長	生涯学習関連施設を運営する指定管理者についての評価委員会の学識委員。	対面	8/18、8/19、 8/20	15
70	委員	東京藝術大学	全区民	足立区文化・読書・スポー ツ推進委員会 文化芸術部 会	—	西岡龍彦名誉教授	足立区文化・読書・スポーツ推進委員会条例に基づき、文化、読書及びス ポーツ活動に係る計画の進捗を一体的に管理し、及び評価するととも に、足立区における文化芸術、読書活動及び運動・スポーツを推進するた め、区長の附属機関として、足立区文化・読書・スポーツ推進委員会を設置 している。なお、分野ごとに検討する場合は、文化芸術部会、読書部会、運 動・スポーツ部会にて活動。	対面	6/21、7/13、 8/4	15
71	委員	東京藝術大学	—	足立区文化芸術劇場運営評 価委員会	音楽学部音楽 環境創造科、 大学院国際芸 術創造研究科	熊倉純子教授	芸術劇場の施設運営を円滑に推進するため、シアター1010指定管理者の評 価。	対面	9/6	6
72	委員	東京未来大学	全区民	足立区文化・読書・スポー ツ推進委員会 運動・ス ポーツ部会	子ども心理學 部	藤後悦子教授	足立区文化・読書・スポーツ推進委員会条例に基づき、文化、読書及びス ポーツ活動の推進に係る計画の進捗を一体的に管理し、及び評価するととも に、足立区における文化芸術、読書活動及び運動・スポーツを推進するた め、区長の附属機関として、足立区文化・読書・スポーツ推進委員会を設置 している。なお、分野ごとに検討する場合は、文化芸術部会、読書部会、運 動・スポーツ部会にて活動。	対面	6/18、7/16、 7/26	15
73	委員	東京未来大学	—	公契約等審議会	モチベーシ ョン行動科学部	田中真奈美教授	足立区公契約等審議会の学識委員。	対面	5/7、6/25、 8/10、8/11、 9/2、9/17、 10/20、2/22	29
74	委員	東京未来大学	—	防犯まちづくり推進地区	こども心理學 部	出口保行教授	防犯まちづくり推進地区の新規認定に向けた認定委員会を開催した。下沼田 町会から提出された認定申請書に対して、当町会が防犯まちづくり推進地区 として認定に至るか審議した。会議の中で町会の取り組みについて講評を受 けた。	対面	3/18	13
75	委員	東京未来大学	—	公園施設指定管理者選定等 審査会	こども心理學 部こども心理 学科	小林久美教授	公園施設指定管理者（都市農業公園）の評価。	対面	7/19	6
76	委員	東京未来大学	—	公園施設指定管理者選定等 審査会	こども心理學 部こども心理 学科	小林久美教授	公園施設指定管理者（都市農業公園）の選定。	対面	5/17、8/18、 8/25	18
77	委員	東京未来大学	—	足立区立校外施設指定管理 者評価委員会	こども心理學 部こども心理 学科	小林久美教授	区立小学生が利用する校外施設を運営する指定管理者を評価するにあたり、 大学の教授から専門的な意見をいただくことで、より適切な評価を実施する ことが可能。	対面	7月	6
78	委員	東京未来大学	—	子ども支援専門部会特別部 会	こども心理學 部	小谷博子准教授	子ども支援専門部会の特別部会員。	書面、対面	7/14、12/21、2 月	63
79	委員	東京未来大学	—	足立区いじめ等調査委員会	こども心理學 部、こども心 理学科	大橋恵教授	足立区いじめ等調査委員会の委員。	対面	8/17、11/5、 12/7、12/14、 1/11、1/17、 1/24、2/14、 2/18、3/23、 3/29	33
80	委員	東京未来大学	—	福祉施設指定管理者等評価 委員会	学校教育学 科、教育人間 科学部	石橋裕子教授	福祉施設指定管理者等評価委員会の学識委員。以前、社会福祉法人設立認可 審査会委員をしていた経緯から依頼。	対面	9/1	7
81	委員	東京未来大学	—	福祉サービス苦情等解決委 員会	医療科学部医 療福祉学科	加藤洋子教授	福祉サービス苦情等解決委員会の委員。	対面	5/31、11/22、 2/18	17
82	委員	東京未来大学	—	精神障がい者施設指定管理 者選定等審査会	医療科学部医 療福祉学科	三木良子講師	足立区精神障がい者自立支援センターの指定管理者評価を実施。	対面	10/18	16
83	委員	東京電機大学	小中学生	「地球にやさしいひとのま ち」ポスターコンクール入 賞作品の審査	工学部デザイ ン工学科	柴田滝也教授	区民が環境問題について考えながらポスターを作成することにより、環境問 題に対する知識や理解を深めてもらい、その啓発を目的とした事業。 手書きの作品だけでなく、パソコン作成の作品も応募対象としているため、 審査項目の観点から依頼。	対面	11月	7
84	委員	東京電機大学	—	足立ブランド認定推進事業	ものづくりセ ンター	帯川利之助セ ンター長	足立ブランド企業認定の選考委員会の委員及び技術確認のための企業訪問。	オンライン	10/1、11/22、 3/25、10/26	21
85	委員	東京電機大学	—	居場所を兼ねた学習支援事 業委託プロポーザル選定委 員会	こども心理學 部/理工学部	小林久美教授/ 山本宏樹准教授	居場所を兼ねた学習支援事業委託についての選定委員会委員。	対面	8/17、10/14、 12/6	18
86	委員	東京電機大学	—	足立区大学病院施設等整備 費補助金交付審査会	都市デザイン 研究室	土田寛教授	足立区大学病院施設等整備費補助金交付審査会の審査委員。	対面	2/15	6
87	委員	東京電機大学	—	環境審議会	未来科学部建 築学科	百田真史教授	環境基本条例に基づく区長の附属機関の学識経験者委員環境審議会副会長。	オンライン	5/26、7/16、 9/13、11/11、 2/15	75
88	委員	東京電機大学	—	足立区ユニバーサルデザイ ン推進会議委員	未来科学部建 築学科	山田あすか教授	足立区ユニバーサルデザイン推進会議の学識委員。	オンライン	5/14、12/3、 3/1	20
89	委員	東京電機大学	—	足立区バリアフリー協議会 委員会	未来科学部建 築学科	山田あすか教授	足立区バリアフリー協議会の学識委員。	書面、対面	5/21、6/15、 7/7、8/24、 9/28、11/19、 1/24、2/16、 2/25	342
90	委員	東京電機大学	—	公益信託あだちまちづくり トラスト運営委員会	国際学部国際 観光学科/シス テムデザイン 工学部情報シ ステム工学科	清水麻帆准教授/ 松井加奈絵准教授	公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会における学識委員。助成の給 付対象、給付額および給付方法等の決定を行う。 まちづくり活動成果発表会への出席および講評。	対面	7/29、2/10、 11/2	90
91	委員	文教大学	—	旧足立区立千寿第五小学校 用地活用事業整備・運営事 業者選定委員	人間科学部人 間科学科	宮地さつき専任 講師	旧足立区立千寿第五小学校用地活用事業整備・運営事業者についての委員会 の有識者委員。	オンライン、 対面	4/19、8/23、 8/30	9

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
92	委員	文教大学	－	あだち子どもの未来応援基金審査会	国際学部国際理解学科	林薫教授	あだち子どもの未来応援基金審査会の委員。	対面	12/10	5
93	委員	文教大学	－	外国にルーツを持つ児童生徒等に対する学習支援事業委託受託事業者評価委員会委員	文学部外国人居留生別科	三枝優子准教授	外国にルーツを持つ児童生徒等に対する学習支援事業委託受託事業者評価委員会の学識委員。	対面	11/22	9
94	委員	文教大学	－	創業支援施設入居者選考委員会	経営学部経営学科	鈴木誠教授	創業支援施設入居者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	10/29	5
95	委員	文教大学	－	起業家支援塾プロポーザル選定委員会	経営学部経営学科	鈴木誠教授	起業家支援塾受託事業者決定についての選考委員会の学識委員。	オンライン	12/17、2/14	9
96	委員	文教大学	－	創業プランコンテスト選考委員会	経営学部経営学科	鈴木誠教授	創業プランコンテスト採択者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	6/16、7/20	10
97	委員	東京未来大学、東京電機大学	小中学生	小中学校用業務委託事業者選定委員会	保育・教職センター/管財部	兵谷川かほる特任教授/井山義信部長	小中学校用業務委託事業者選定委員会の学識委員。シティープロモーション課大学連携担当係長の紹介。	対面	9/30、12/16、12/17	21
98	委員	放送大学、東京未来大学	高齢者	孤立ゼロプロジェクト推進事業	－	宮本みち子名誉教授、角山剛学長	孤立ゼロプロジェクト推進連絡会の委員として助言等を行う。（一人暮らし高齢者の孤立対策という視点から）	書面	2月	26
99	委員	放送大学、東京藝術大学、東京未来大学	全区民	足立区文化・読書・スポーツ推進委員会	子ども心理学部	岩永雅也学長 西岡龍彦名誉教授 藤後悦子教授	足立区文化・読書・スポーツ推進委員会条例に基づき、文化、読書及びスポーツ活動の推進に係る計画の進を一体的に管理し、及び評価するとともに、足立区における文化芸術、読書活動及び運動・スポーツを推進するため、区長の附属機関として、足立区文化・読書・スポーツ推進委員会を設置している。なお、分野ごとに検討する場合は、文化芸術部会、読書部会、運動・スポーツ部会にて活動。	対面	4/30、8/27	32
100	委員	放送大学、東京電機大学	－	情報システム支援業務委託プロポーザル選定委員会	教養学部情報コース/未来科学部ロボット・メカトロニクス学科	中谷多哉子教授/松垣博章教授	支援業務の委託業者について、選定会の学識委員。以前、住記、税の再構築について選定会の学識委員をしていた。	オンライン	6/14、9/21	10
101	委員	東京未来大学、東京電機大学	－	足立区民評価委員会の学識委員会	子ども心理学部/子ども心理学部/未来科学部建築学科	藤後悦子教授/荻原雅史講師	足立区民評価委員会の学識委員。	オンライン	4/19、8/17、12/13	44
102	委員	東京藝術大学、東京未来大学、文教大学	－	足立区ギャラクシティ運営評価委員会	音楽学部/子ども心理学部/子ども心理学部/教育学部	伊志嶺絵里子非常勤講師/渡辺千歳教授/山縣朋彦教授	ギャラクシティの施設運営を円滑に推進するため、足立区こども未来創造館及び足立区西新井文化ホール指定管理者の評価。	対面	9/1、9/7	11
103	委員	帝京科学大学、東京未来大学	－	公園施設指定管理者選定等審査会	生命環境学部アニマルサイエンス学科/子ども心理学部/子ども心理学部	加賀谷玲夢講師/鈴木哲也教授	公園施設指定管理者（元沼江公園・生物園）の評価。	対面	7/28	6
104	委員	東京未来大学、文教大学	－	プロポーザル選定委員会	こども心理学部/こども心理学部/国際学部	小林祐一教授/海津ゆりえ教授	公募型プロポーザルによる委託事業者（桑袋ビオトープ公園ほか1か所）の選定。	対面	9/14、11/19、1/11	15
105	委員	帝京科学大学、東京未来大学	－	子ども施設指定管理者等選定審査会	教育人間科学部幼児保育学科/こども心理学部/こども心理学部	林友子教授/佐々木由美子教授	子ども施設指定管理者等選定審査会の委員。	対面	8/3、3/16	16
106	会議	東京藝術大学	－	水害時避難所運営手順書についての打合せ	事務センター	藤原修事務長	令和3年1月22日に「大規模水害時における緊急避難建物としての使用に関する協定」を締結したため、その後作成した水害時避難所運営手順書案についての内容協議。	対面	7/5	3
107	会議	東京未来大学	高齢者	孤立ゼロプロジェクト推進事業	エンrollment・マネジメント部	越智房樹氏	常東地域（日ノ出町、千住池町、千住閑屋町、千住東、柳原）の住民が、認知症になってもお互いに助け合いながら安心して暮らせる町づくりを検討。東京未来大学の学生との交流も含め、常東地域あしんぼ大推進会議の協力メンバーとして情報交換。	オンライン	1/26	10
108	会議	東京未来大学	－	備蓄倉庫見学	エンrollment・マネジメント部	大磯貴晃氏	当初、30名程度が集まって訓練の実施を予定していたが、緊急事態宣言の延長に伴い見送ることとした。その代替として、地域から要望が挙がっていた備蓄倉庫の見学のみ実施。	対面	9/20	18
109	会議	東京未来大学	－	避難所運営会議役員会	エンrollment・マネジメント部	大磯貴晃氏	作成した水害時避難所運営手順書の周知および12年ぶりに実施する避難所運営訓練に向けた準備。	対面	7/6	21
110	会議	東京電機大学	－	駅前滞留者対策推進協議会事業者ヒアリング	管財部	井山義信部長	北千住駅前滞留者対策協議会に参加いただいている事業者として、大規模地震時の事業者としての対応をヒアリング。	オンライン	1/24	6
111	会議	東京電機大学	－	駅前滞留者対策推進協議会の合同オンライン説明会	管財部	井山義信部長	北千住駅前・綾瀬駅前滞留者対策推進協議会に対し、現在作成している「北千住ルール実践のための行動指針（案）」等、区の方針を説明するための説明を実施。	オンライン	2/28	29
112	会議	東京電機大学	－	ものづくり支援事業	地域連携担当	深澤武彦課長	あだち異業種連絡協議会から東京電機大学と連携して異業種フォーラムを開催したいとの依頼があり、連携事業について確認するため、打合せを実施。	オンライン	3/14	11
113	会議	文教大学	－	パークミーティング	－	－	桜花李主催の地域の会議。	対面	7/6、10/28、2/15	61
114	会議	文教大学	－	花畑地域まちづくり協議会	－	青木勉法人事務局次長兼総務部長	花畑地域のまちづくりに関する地域の会議。	対面	9/7、2/10、11/17	96
115	会議	文教大学	－	経済活性化会議	経営学部経営学科	鈴木誠教授	足立区経済活性化基本条例第8条に基づき設置される区長の附属機関。経済活性化基本計画に関する調査、審議を行う。	書面、対面	5月、1/26	21
116	会議	六大学	－	学長会議・実務者会議	－	－	学長会議では区長と学長が集まり意見交換を行う。各大学の実務者と区で情報共有を行う。	オンライン	8/25、6/25、11/16、3/10	137
117	会議	放送大学、東京藝術大学、東京未来大学、帝京科学大学	－	水害時避難所派遣職員現地確認及び職員顔合わせ	事務センター/エンrollment・マネジメント部/会計課施設係	藤原修事務長/大磯貴晃氏/岩木淳治主任	水害時避難所として円滑な開設・運営ができるよう、水害時避難所派遣職員による利用可能エリアや備蓄等の確認を行うと共に、大学担当者との顔合わせや発災時等の連絡方法を確認。	対面	8/10、8/30、8/31	30
118	会議	帝京科学大学、東京未来大学	－	教育利用研究会	こども学部幼児保育学科/こども心理学部	木場有紀准教授/小林祐一准教授 高橋文子准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。 引き続き新規プログラムの開発を行う。	対面	7/3、12/7、10/15、8/27	28
119	調査研究	東京未来大学	－	冒険あそびに関する共同研究	こども心理学部	横畑泰希准教授	公園あそび（冒険あそび）にて、こどもたちの心理や行動における変化、スタッフの関わり方と子どもの変化の関係について共同研究を行う。また、ブレイリーカード養成に関する指導も依頼する。	対面	1/22	4
120	調査研究	文教大学	小中学生	特別支援教育における研究交流事業	教育学部	小野里美帆教授	研究交流事業として、研究学生受入校を募集。教授より支援を要する児童（受入校1校につき1人）の行動観察・助言指導及び研究学生による週1回の支援。受入校との合同会議、全小中学校教員等を対象に報告会を実施。	対面	7～2月	69
121	調査研究	帝京科学大学、東京未来大学、文教大学	－	発達障がい学生支援に関する調査	各大学の学生を支援する部署	－	大学全体の基本情報・学生支援にあっている部署に関する内容についてアンケート。 訪問し、学生支援の実態・支援に関する課題・区との連携等について担当スタッフから話をうかがう 区内大学の発達障がい学生支援の実態や学生支援に関する課題・ニーズを把握・整理し大学と区との協働・協創により発達障がいの切れない支援に向けた連携体制を構築すること。 これまでいくつかの事業を施行してきたが継続実施には至らなかったことを踏まえ、当センターの思いのみではなく、正確に大学の現状・ニーズを把握したうえで連携する必要性を強く感じたことから調査実施に至った。	対面	8/10、9/8	6
122	配布協力	六大学	大学生	「スクールアシスタント募集」チラシ配布の協力	－	－	スクールアシスタント募集のチラシを区内六大学に配布し、事業周知をすることで、スクールアシスタントの充実を図る。	－	7/16	－

No	事業 区分	大学	主な 対象者	事業名	学部学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加 者数
123	配布 協力	六大学	大学生	オウム真理教勧誘防止チラシ配付の協力	-	-	新入生を対象にオウム真理教についての注意喚起チラシを配付し、若い世代の入信を防止する。	-	3/14	-
124	配布 協力	六大学	大学生	「若者向け相談事例集の配布」の協力	-	-	令和4年4月1日に成年年齢が20歳から18歳に引き下げられることから、若者向けの相談事例集を作成した。作成物について、各大学に配布の協力を依頼。	-	3/11、3/15	-
125	配布 協力	六大学	大学生	「地球にやさしいひとのまち」ポスターコンクール応募チラシの配布	-	-	区民が環境問題について考えながらポスターを作成することにより、環境問題に対する知識や理解を深めてもらい、その啓発を目的とした事業。小・中学生だけでなく一般からも募集しているため、大学生に周知するため配付を依頼。	-	8月～10月（募集期間）	-
126	配布 協力	六大学	全区民	区拉致問題啓発ポスターの配布の協力	-	-	拉致問題をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題について、区民をはじめ区内の大学生にも理解を深めてもらうため配布し、掲示を依頼。	-	9/17	-
127	実習生 受入	帝京科学大学	-	スクールソーシャルワーカー実習生受け入れ	医療科学部医療福祉学科	-	スクールソーシャルワーカー実習生の受け入れ。	対面	6/1、6/3、6/4、6/8	4
128	実習生 受入	文教大学	-	臨床心理実習	人間科学研究科臨床心理学専攻	-	大学院生3名をチャレンジ学級での実習生として受け入れ。	対面	6月～3月	111
129	実習生 受入	東京未来大学、 文教大学	大学生	心理実習	子ども心理学 部子ども心理 学科心理専攻、人間科学 部臨床心理学 科	-	東京未来大学9名、文教大学生7名をこども支援センターげんきの見学実習生として受け入れ。事業概要を説明。	対面	6/16	16
130	会場 提供	東京電機大学	全区民	新型コロナウイルスワクチン接種	-	-	新型コロナウイルス感染症の重症化を防ぐために、医師会等と連携しながら、ワクチン接種を円滑に進めるための体制を構築。	対面	10月（月・火曜日を除く毎日）、及び11月12～14日・17～21日	-
131	補助金	東京電機大学	-	高等教育機関が設置する創業支援施設の運営に対する補助金	研究推進社会連携センター	-	創業期の事業者の自立を支援するため、東京電機大学が平成23年に創業支援施設「かけはし」を設置し、運営費を区が補助。	-	通年	-